

◆ 1 年「SS リテラシー」～ループリックを使った科学的視点の表現～

本校理数科が取り組む SSH 科目の理数科 1 年「SS リテラシー」も本格始動しています！本授業は、身近な環境や地域の自然をテーマに生徒それぞれが興味を持ち疑問点や課題を見つけ、その課題解決をするために必要な知識を習得したり、科学的な視点で思考できる態度の育成を目的としております。そこで事前課題として、①「エコな商品」「AI 技術」とはどのようなものか②本校の建物やその周囲の環境について、これらを他者へ説明するため文章に



【教師の説明を聞き互いに評価をしている様子】

まとめました。その後、授業の中で、ループリックを用いて表現の仕方を互いに採点し、自己の不十分だった視点について確認しました。例えば②の本校の建物やその周辺の環境についてのループリック評価 A は「海岸から 1km 程度離れ、珊瑚礁が隆起した土壌：琉球石灰岩土壌に建てられ（立地条件の説明がある）、周辺はサトウキビなどの畑が多く（周辺の土地利用がわかる）、建物はまばらで静かで学習環境が良い（静か、自然豊か）などイメージ出来る。」と設定し、より科学的な視点で物事を捉えそれを表現できることを目指していきます。

◆ 2 年「SS 科学表現」～英語科・ALT 教諭による SSH 授業～

本校理数科 2 年には英語教諭と 3 名の ALT が担当する科目「SS 科学表現」があり、国際的に活躍する人材育成を目指しています。科学的な英語表現に取り組むことで、校内研究発表会での英語でのスピーチや、3 年生の論文作成、



【ALT との授業の様子】

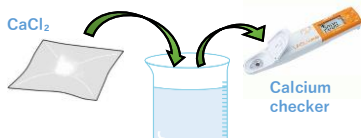
更には海外の高校・大学生と研究で意見交換ができるようになることを目指します。英語でのコミュニケーションを楽しむことから始まり、本格的な英語でのプレゼンテーションの仕方や英語論文の作成を学んでいきます。

◆ 3 年「SS 課題探究 II」～2 年で取り組んだ研究を英訳し論文を作成する～

Adjustment of Calcium Ion Concentration Results in Changes in Planarian Bodies

2 年理数科
Rin TOUMA, Amane MATSUO
Momona MAEDA, Misaki TOKISHI

Make a solution



本校理数科 3 年は「SS 課題探究 II」の授業で、2 年で取り組んだ研究を論文にまとめます。左の図は昨年度の「向陽 SSH 生徒研究発表会」において、全編英語で発表した生物分野グループの発表スライドの一部です。このグループは現在、研究論文をまとめながら、全編英訳する作業を進めています。その他のグループも、自らの研究の要旨について英語要旨 (Abstract) で表現します。可能な限りこれらを HP 上で公開し、同じような研究に取り組む海外の高校生・大学生と積極的に意見交換を行いたいと考えています。